

東日本大震災 復興応援コンサート2014

in仙台市宮城野区・女川町・陸前高田市・気仙沼市

実施報告書



平成26年12月5日(金)

17:30~仙台市宮城野区 (田子西市営住宅 集会所)

平成26年12月6日(土)

13:30~女川町 (女川町地域福祉センター)

平成26年12月7日(日)

11:00~陸前高田市 (コミュニティカフェ「りくカフェ」)

13:30~気仙沼市 (反松公園仮設住宅 集会所)

福岡市職員音楽会実行委員会

<http://summermemocon.com/>

福岡市職員音楽会実行委員会

当会は、福岡市職員や関係職場の職員の音楽を愛する仲間が集う有志(アマチュア)の団体です。当会では、毎年1回、福岡市内のホールにてピアノ・フルート・ギターなどの器楽演奏、合唱、独唱に合わせた踊りなどによる手作りコンサートを開催しています。そのほかに、東日本大震災の被災地を訪問しての「復興応援コンサート」や福岡市役所1階市民ロビーでの「夏の思い出ロビーコンサート」を開催しています。

行程 平成26年12月5日(金)～8日(月)

12月5日(金)	10:30 集合 福岡空港	11:35 飛行機 仙台空港	13:15 仙台空港	13:36 仙台空港 アクセス線	14:01 仙台市内	14:20 河北新報社(募金の贈呈)	14:40～16:00 仙台中央音楽センター	16:32 仙台駅	16:45 JR 仙石線 福田駅	17:30～18:30 (演奏) 仙台市宮城野区田子西市営住宅	19:11 福田駅 仙石線	19:24 仙台駅	20:00～ 交流会 10名	【宿泊】仙台市内
12月6日(土)	8:00 仙台市内	仙台市若林区荒浜地区松島・瑞巖寺	11:30 女川町	昼食	13:30～14:30 (演奏) 女川町女川町地域福祉センター	15:00 女川町	18:30 気仙沼市	19:00～ 交流会 12名	【宿泊】気仙沼市内					
12月7日(日)	8:00 気仙沼市	9:00 陸前高田市	9:00～10:00 視察 山本様によりご案内	11:00～12:00 (演奏) 陸前高田市りくカフェ	12:00 陸前高田市	13:00 気仙沼市	13:30～14:30 (演奏) 気仙沼市反松公園仮設住宅会所	15:00 気仙沼市	18:00 仙台空港	19:15 仙台空港	21:25 福岡空港	第1陣		
12月8日(月)	仙台駅	10:40 館腰駅	11:30 山元町	(訪問) 山元町 渡辺様によりご案内	13:00 山元町	13:45 仙台空港	15:45 仙台空港	17:55 福岡空港	第2陣					

♪♪「復興応援コンサート2014」を終えて♪♪

今回で3回目となる「復興応援コンサート」を平成26年12月5日(金)から8日(月)の4日間で、仙台市宮城野区・女川町・陸前高田市・気仙沼市の4つの会場にて、ボーカルや器楽などによるコンサートを開催し、117名もの方にご来場いただきました。その他に、コンサート開催でお世話いただいた方や福岡市から陸前高田市に派遣されている職員との交流会を開催し、陸前高田市や山元町において地元の方から被災地をご案内いただきました。

今回、強行日程となり各コンサート会場でもう少し時間をとればよかったとの反省もありますが、コンサート、交流会や被災地のご案内によりいろいろな方から震災当時や現状などのお話をお聞きしたり、見ることができました。

また、「花は咲く」「ふるさと」などを会場の皆様も一緒に歌っていただき、会場内に響き渡った時、気持ちの高ぶりや込み上げてくるものを感じ、音楽の持つすばらしさにあらためて触れることができました。

私たちの演奏が被災地の皆様に一時の心の和みとなり、地域コミュニティづくりの1つとして少しでもお役にたてればとの願いもありますが、参加者自身にとって「行って、聞いて、見て、何かを感じる」ことにより、貴重な経験を得ることができたと思っています。

今後とも東北でお世話になった方々とのご縁(つながり)を大切にしてこのコンサートを継続していくとともに、お世話になった方々のご厚意にお応えするためにも、私たちの経験を福岡の地で伝えたいと思っています。

最後に、コンサート開催にあたり、ご尽力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

福岡市職員音楽会実行委員会会長 井料田 充(福岡市会計室審査課)

12月5日 仙台市宮城野区



1



2



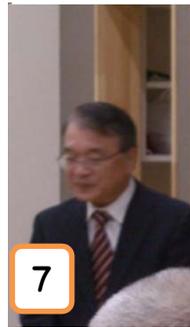
3



4



6



7



8



5



10



9



11



12

①福岡空港で出発式をしました。 ②仙台空港に着いた時、雪が激しく振っていて3日間どうなるかと不安にかられましたが、仙台市内に移動すると雪もなく安堵しました。 ③仙台市内の「河北新報社」に「第8回夏の思い出コンサート」などで集まった募金を寄付しました。 ④⑤最初のコンサート会場である仙台市宮城野区の田子西市営住宅集会所では、コンサート開始の直前に住民の手作りイリミネーションの点灯式があり、多くの方が集まっておられました。 ⑥コンサートの開催に当たり田子西町内会の川名会長様にご挨拶いただきました。 ⑦いろいろな連絡調整や手配、この日の楽器運搬など大変お世話になりました辻さんにもご挨拶いただきました。 ⑧～⑪仙台市宮城野区の田子西市営住宅の集会所でのコンサートです。 ⑫田子西市営住宅でのコンサート開催にご尽力いただいた樋口さんや辻さんと交流会を開きました。



①②仙台市若林区荒浜地区に立ち寄りしました。家屋の基礎が残る荒涼とした風景や観音像下の石碑に震災時に広報車で避難を呼び掛けて亡くなられた若林区役所職員のお名前を見ると胸を締め付けられるような思いでした。③仙台市から女川町の途中で名所「瑞巖寺」に立ち寄りしましたが、時間も無く本堂も工事中でしたので入口で記念写真を撮って出発しました。④⑤福岡市役所を早期退職されて現在女川町役場にお勤めの魚川さんと昼食をご一緒しました。魚川さんのご案内で女川町で人気店の海鮮丼（女川丼）を堪能しました。⑥この盛りでなんと1,300円です。⑦女川町で「輝望の丘コンサート」を主宰され、フルートを吹かれている木村さんです。3年前の1回目のコンサートからお世話になっています。⑧木村さんにもフルートを一緒に演奏していただきました。⑨コンサート終了後のワンカットです。

12月6日 女川町



1



2



3



4



5



6

12月6日 気仙沼市



7



8



9



10

①コンサート終了後、木村さんに女川町の復興の現状などのお話をお聞きしました。②地域福祉センターのある高台から見る3年目の光景です。③同じ敷地内にある女川町地域医療センターの柱には、この高さまで津波が達したことを示す「津波の記録」がありました。④女川町の震災のシンボリックな建造物ですが、再開発のために今月11日から取り壊されるとのことでした。⑤この石碑は、1000年先まで記憶を残そうと女川町の子供たちが考えた「町にある21の浜の津波が襲って来た高さの地点に石碑を建てる」いのちの石碑プロジェクトのものでした。⑥女川町のコンサート会場の地域福祉センターです。⑦⑧⑩福岡市役所から陸前高田市役所に派遣されている三角さん・北川さん・水落さん、(社)ボランティアステーションin気仙沼の菊田代表と参加者8人で気仙沼市内の人気店にて交流会を開きました。⑨左が(社)ボランティアステーションin気仙沼の菊田代表です。



1



2



3



4



5



6



7



8



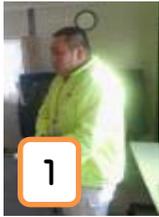
9



10

① 2台のレンタカーで移動しました。1台は電子ピアノやギターなどを運搬するために軽貨物車です。2日間の走行距離は428Kmでした。 ② 陸前高田市の高田大隅つどいの丘商店街事務局の山本さんに陸前高田市内をご案内いただき、被災当時や復興の状況など貴重なお話をお聞きました。 ③ 4階部分まで津波が達したそうです。 ④ 土地のかさ上げ用の土砂を運ぶベルトコンベアの巨大さに圧倒されました。 ⑤ 遠くに「奇跡の一本松」を見ることができました。 ⑥ 陸前高田市のコンサート会場の「りくカフェ」です。この施設は地域コミュニティの拠点づくりとしてNPO法人で運営されており、平成26年10月にリニューアルオープンされたそうです。 ⑦ 「りくカフェ」でのコンサートです。 ⑧ 最後に「りくカフェ」の皆さんにも歌っていただきました。 ⑨ 福岡市の3人の派遣職員もコンサートに来ていただき、三角さんに挨拶いただきました。 ⑩ 最後に皆さんと一緒に写真を撮りました。

12月7日 気仙沼市



12月8日 山元町



①気仙沼市の反町公園仮設住宅でのコンサートをお世話いただいた（社）ボランティアステーションin気仙沼の畠山さんです。②～⑤気仙沼市の反町公園仮設住宅の集会所でのコンサートです。日曜日のお昼の開催にもかかわらず多くの方にお越しいだき演奏をお聴きいただきました。⑥⑦コンサート終了後に町内会長さんをはじめ仮設住宅の方々とお茶会をさせていただきました。⑧帰福する第1陣を仙台空港に見送り、仙台空港内で解散式をしました。⑨⑬山元町で震災当時、山下中学校の校長先生で現在、「やまもと語りべの会」会長の渡邊さんから被災地をご案内いただきました。⑩⑫中浜小学校では、校内をご案内いただきました。⑪震災直後、児童や先生、住民の方々が15時間も過ごした屋根裏部屋を案内いただきました。当日のままで、不安や恐怖で一晩を過ごした児童たちのことを思うと言葉を失いました。⑭第2陣は山元町の視察を終えて帰福しました

コンサート開催にお世話になった方々からのメッセージ

先日は有り難うございました。

やっと設備が整った集会所での、初めてのコンサートで皆様、大変感動いたしておりました、それも、はるばる福岡から来られてのコンサート、寒くなかったかと、申し訳なかったと思っております。

また、機会がありましたら、お会いしたいと思っております。

(田子西町内会長 川名様)



復興支援コンサートありがとうございました。5日は本当にお世話様でした。復興公営住宅の川名さんはじめ、住民の皆様、区役所の皆様、素敵な出会いをありがとうございました。

寒い寒い仙台を堪能(!?)なさったと思いますが、どうぞメンバーの皆様にも宜しくお伝えくださいませ。

(仙台市 樋口様)

復興応援コンサート、大変お疲れ様でした。

すばらしコンサートで体のなかからほのぼの温かくなりました。

寒い所で皆さん風邪などひかなかったでしょうか。

これからの貴会のますますのご発展を祈ってます。

(女川町役場 魚川様)



先日のコンサートはアットホーム感があり、すごくよかったです。

支援職員である私や魚川さんも含めて、復興支援も少しずつの積み重ねだと思えます。

福岡のみなさんのコンサートは町民の方だけでなく、私たちにもここで頑張ろうという気持ちを与えてくれました。

また、来年も機会がありましたらお会いできればと、今から楽しみにしています。

(女川町役場 坂本様)

この度は陸前高田に訪問いただきまことに有難うございました。

簡単な説明しかできずご不便おかけしたかと思っておりますがご了承ください。

震災から時間が経過することで風化の問題が叫ばれている中、こうして現地に赴き活動をしていただけることは、地元の方々にとっても励みになるものです。

今後どんな形になるかわかりませんが、お付き合いのほど宜しくお願い致します。

(高田大隅つどいの丘商店街事務局 山本様)

心のこもった暖かいコンサートでした。ありがとうございました。

「ふるさと」は、思わず涙腺が緩みました。

みなさんにも、よろしくお伝えください。

(陸前高田市役所 北川様)

今回の演奏会、お疲れ様でした。

暮れのお忙しいところ、遠方よりお越しくださいまして、本当にありがとうございました。

今でも心を寄せて下さる方々がいらっしゃる！遙々訪ねてきて下さる！

大変、励みになりました。

益々の、ご活躍お祈りいたして居ります。

(陸前高田市 りくカフェ様)

本当に素敵な時間をありがとうございました。

その後仮設住宅の方とお話をする機会があったのですが本当に楽しかったとおっしゃられていました。

これも全て井料田さん始め、来ていただいた皆様のおかげです。

是非これをきっかけに、今後も繋がらせて頂ければと思っておりますので何卒よろしくお願い致します！！

本当にありがとうございました！！

(社)ボランティアステーション in 気仙沼 事務局 畠山様



参加者の「行って、聞いて、見て、何かを感じた」こと

正直な感想として先ず感じたことは「まだ何も終わっていない。」ということです。実際に被災地の荒れ果てた荒野に立ち、土台しか残っていない民家を見て思いました。ここにはごく普通の暮らしの幸せがあったはずで

あるコンサート会場で、温かいコーヒーを差し入れてくださった年配の男性と出会いました。やがて、その男性はポケットから数枚の写真を取り出しながら、ポツリポツリと話し始めました。当時7人いらっしゃった男性のご家族は津波で5人が帰らぬ人となり、現在は仮設住宅で中学3年生になる孫娘さんとの二人暮らし。震災後に登校拒否となってしまわれた孫娘さんの将来に胸を痛めておられました。「このコンサートにも連れてきたかったんだが…」と悲しそうに話す男性。

福岡に帰ると、町じゅうにクリスマスソングが流れていました。一年で最も華やかな季節。しかしその一方では、いまだに震災の傷跡と向き合い、支え合って生きる人々の存在があります。この現実を我々はしっかりと受け止め、風化させてはならないと、強く心に刻みました。また、訪問した先々の被災地では、地元の社会福祉協議会がしっかりと寄り添っていたことも印象に残りました。

井料田会長をはじめ関係者の皆様方のお陰で貴重な3日間を過ごすことが出来、心より感謝しております。今回の参加者の多くが20代の若者たち。後継者は安泰ですね！皆さん、本当にお疲れ様でした！（^O^）！

（江藤 孝子）

3泊4日で仙台市・気仙沼市・陸前高田市・女川町・山元町を訪問しました。なにともなくなった土地やゆがんだ建物などの痕跡だけを残して、一瞬にして楽しかった日々がなくなってしまった様子が目の前に広がっていました。

辻様や樋口様からさいたお話では、その日、受け取ったばかりのマイホームが波にさらわれてしまった方がいらっしゃるということです。実際に、家の基礎だけが残った場所はとても多くあり、新築だけでなく、たくさんの思い出の詰まった我が家が跡形もなくなってしまうことの恐ろしさは私には想像もつかないのだろうと感じました。

最後の日に訪れた学校は、天井や壁、窓が壊れており、避難していたという天井裏では、電気や水道もなく、その日暗闇におびえながら過ごした子供たちがあの日この場所にいたのだということにとっても胸が痛みました。

今回、コンサートをしていく中で、「花は咲く」や「ふるさと」を演奏し、ご来場いただいた皆様と一緒に歌っていただきましたが、心を込めて歌われるその様子にいろんな感情があふれ、涙がこぼれそうになりました。

でも、かなしみだけではありません！お会いした方々は皆様こころ暖かく迎え入れてくださり、また、山元町でおすすめされたリンゴを買って帰りましたが、蜜がたっぷりとてもおいしかったです！

（岡 奈都美）



初めて被災地に立ち、画面を通してみることに、自分の目でみて感じることに、大きな違いがあると痛感しました。

また、復興の傍らで、被災の跡がなくなっていくことは必然かもしれませんが、だからこそ、人から人へ継承していくことが大切だと思いました。

今回、お会いできたのは限られた方たちでしたが、東北の地や人に何か少しでも残せていたらいいなという思いでいます。

（下川 華奈）

この度、福岡市職員音楽会の一員として「東北復興応援コンサート」に参加し、東北（宮城・岩手）の東日本大震災の被災地を訪れました。

被災地の様子はこれまでもテレビや新聞などで何度も目にしましたが、直接目で見るとスケールの大きさや衝撃に、はじめは言葉が出ませんでした。

また、ほとんど復興が進んでおらず、倒壊したビルや瓦礫がそのままになっている風景は衝撃的でした。一方で、区画整理が進み、住宅が少しずつ建ち始めている地区もあり、一歩一歩先へ進んでいる証であり、素晴らしいことだと思いました。

しかし、地震や津波が残した傷跡が無くなり、時の流れと共に、いずれは人々の記憶からこの出来事が薄れていく気もしました。そうならないためにも、より多くの方々に、東北の出来事、現状を知ってもらうことは必要な事で、大切なことだと思いましたし、私たちのこの活動が、その力に少しでもなれたらと思いました。

また、現地の方々や福岡市から陸前高田市に派遣されている職員の方の話も貴重なもので、被災された方々は私の想像の及ばないような大変な体験されたのではと思いますが、皆さんの表情は、それを感じさせないほど明るく、笑顔で、その前向きな姿勢や強さに心を打たれました。その一方で、大切な方を多く失い、心に深い傷を負い、今でも苦しんでいる方も沢山おられ、そうした方々が一日も早く、光を取り戻せることを心から願いました。

今回の二泊三日は、かなり厳しいスケジュールだったために、現地の方々と交流する時間があまりなかったことは少し残念でしたが、その分沢山の場所を訪れ、その風景を見て、色々なことを感じる事ができました。

東北復興応援コンサート2014に参加された方々、サポートしてくださった方々、応援して下さいました方々に深く感謝いたします。とても充実した二泊三日でした。

（田中 陽介）



■福岡市職員音楽会実行委員会

当会は、福岡市役所や関係職場の職員の音楽を愛する仲間が集う有志（アマチュア）の団体で、ピアノ・フルート・ギターなどの器楽演奏、合唱、独唱に合わせた踊りなどにより、毎年、福岡市内のホールで「夏の思い出コンサート」や福岡市役所1階市民ロビーで「夏の思い出コンサート」と題した手作りのコンサートを開催しています。

これまでに開催しましたコンサートなどは、インターネットで「福岡市職員音楽会実行委員会」で検索していただければご覧いただけます。

当会のホームページ<http://summermemocon.com/>



平成26年9月6日「第7回夏の思い出コンサート」にて



復興応援コンサート2014

in 仙台市宮城野区・女川町・陸前高田市・気仙沼市

～ 福岡より復興の願いを込めて ～

平成26年12月5日(金)

17:30～仙台市宮城野区(田子西四市営住宅 集会所)

平成26年12月6日(土)

13:30～女川町(女川町地域福祉センター)

平成26年12月7日(日)

11:00～陸前高田市(コミュニティカフェ「りくカフェ」)

13:30～気仙沼市(反松公園仮設住宅 集会所)

福岡市職員音楽会実行委員会

出演者

■福岡市職員音楽会実行委員会

フルート : 井料田 充
 アルトサックス : 安永 佐知子
 ギター : 横田 直樹
 ピアノ : 下川 華奈
 ピアノ弾き語り : 田中 陽介
 打楽器 : 江藤 孝子
 ボーカル : 岡 奈都美 屋形 翔

■賛助出演(女川町のみ)

フルート : 木村 裕(石巻市民交響楽団員)



プログラム

会場により演奏曲目が変わります。

- ♪月の光 / 作曲 : ドビュッシー 下川 華奈(ピアノ)
- ♪いつも何度でも / 作詞 : 覚和歌子 作曲・編曲 : 木村弓
岡 奈都美(ボーカル) 下川 華奈(ピアノ)
- ♪目覚めよと呼ぶ声あり / 作曲 : J. S. バッハ
木村 裕・井料田 充(フルート) 下川 華奈(ピアノ)
- ♪歌曲「ヴォカリーズ」 / 作曲 : ラフマニノフ
安永 佐知子(アルトサックス) 下川 華奈(ピアノ)
- ♪タガタメ・蘇生 / 作詞・作曲 : 桜井和寿「Mr.Children」
屋形 翔(ボーカル) 横田 直樹(ギター)
- ♪「アナと雪の女王」からLet It Go～ありのまままで～
/ 作詞・作曲 : Anderson-Lopez and Robert Lopez
井料田 充(フルート) 下川 華奈(ピアノ)
- ♪逢いたくていま / 作詞 : MISIA 作曲・編曲 : 佐々木潤
田中 陽介(ピアノ弾き語り)
- ♪津軽海峡冬景色 / 作詞 : 阿久悠 作曲・編曲 : 三木たかし
井料田 充(フルート) 安永 佐知子(アルトサックス) 下川 華奈(ピアノ)
- ♪花は咲く / 作詞 : 岩井俊二 作曲 : 菅野よう子
- ♪ふるさと / 作詞 : 高野辰之 作曲 : 岡野貞一

福岡市職員音楽会実行委員会による復興応援コンサートも、今年で3回目の開催を迎えることができました。

開催にあたりまして、多大なるご協力をいただいております地域のボランティアの皆さんやNPOの皆さん、そしてすべての関係者の皆さまに心からお礼を申し上げます。

平成23年3月の未曾有の大震災から4年近くの月日が経ち、道路の復旧や住宅などの建設も進んでいるようですが、今もなお、多くの方々が避難生活を余儀なくされておられます。

福岡市としても、支援職員の派遣や、被災された皆さまへの市営住宅のご提供などを継続して行っているところで、あらためて被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一刻も早い復興を心からお祈り申し上げます。

参加する職員にとりまして、訪問先で多くの皆さんから震災当時の状況や現在の課題などのお話をお聞きしたり、現地をご案内いただいたりすることは、地域行政の担い手である職員として、大変貴重な経験となっております。

福岡市職員音楽会実行委員会では、その経験や現状を、福岡市民の皆さんにお伝えしなければならないと考え、自主開催しています「夏の思い出コンサート」において、毎年、報告を行っております。

今回は、過去最多となります8名がお伺いすることになります。演奏者は、もちろん全員アマチュア演奏家ですが、自分たちから出来る音楽で、少しでも皆様のお力になりたいという熱い気持ちで、このコンサートを企画しています。

演奏者全員が心を込めて演奏いたしますので、ぜひ、楽しんでいただければと思います。

最後になりましたが、この活動が、被災地と福岡市の架け橋となり、東北の皆さんと福岡市民の絆が、今後益々深まりますことを心から願っています。

福岡市長 高島 宗一郎